第３回四万十町窪川地域中心街地活性化協議会議事録

１　開催日時　令和２年３月25日(水)　10:00~12:00

２　開催場所　四万十町役場東庁舎２階町民活動支援室

３　出席委員及び欠席委員

（出席）

会　長	（四万十町商工会会長）	武田　秀義
副会長	（社会福祉法人しまんと町社会福祉協議会会長）	八木　雅昭
委　員	（岩本寺住職）	窪　博正
委　員	（四万十町副町長）	森　武士
委　員	（高知県産業振興推進部地域産業振興監（高幡地域担当））	森田　健嗣
委　員	（株式会社高知銀行窪川支店長）	泉　茂
委　員	（有限会社山岡商店代表取締役）	山岡　義正
委　員	（高知県商工労働部経営支援課長）	山本　倫嗣
委　員	（窪川街分区長会長）	荒川　伸雄

（欠席）

委　員	（一般社団法人四万十町観光協会会長）	池田　十三生
委　員	（窪川中学校ＰＴＡ会長）	佐竹　孝太
委　員	（株式会社四万十交通代表取締役）	吉岡　真佐人

４　事務局等出席者

高知県　経営支援課　主査　鍋島　由子

高幡地域本部　地域支援企画員　池田 菜美

四万十町商工会　事務局長　宮地　正人、事務局　森田　尊之

四万十町　　企画課 課長 山本 康雄、まちづくり推進室 室長 大元 学、

地域おこし協力隊 岸 豊、

にぎわい創出課 課長 植村 有三、副課長 小笹 義博、総括主幹 竹澤和子

５　議事

（１）四万十町窪川地域中心市街地活性化計画の策定について

７　　配布資料

資料１　四万十町窪川地域中心市街地活性化計画（案）

【概要】

＜開会＞

委員12名中９名の出席により会議が成立することを報告し、開会を宣言。

区長会長の交代により吉田委員に代わり荒川委員が就任したことを報告。

＜会長あいさつ＞

本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

コロナの影響で居酒屋等に影響が出ております。皆様におかれては大丈夫とのことでご出席いただいておりますが、コロナに充分に気をつけてご活躍いただきますようお願いいたします。

これから事務局より議案を提出させていただきますが、本日の会がよりよいものとなりますよう皆様のご協力をお願いいたします。

＜協議事項＞

■四万十町窪川地域中心市街地活性化計画の策定について

（事務局）

事務局より案及び次年度スケジュールについて説明

（会長）

この件についてご質問、ご意見等がありましたらお願いいたします。

（委員）

たいへん活性化計画よくできていると思いますが、何点か要望があります。

文化的複合施設について書かれておりますが、２月に基本設計業者が確定し、４月から９月に基本設計に入っていきます。できれば序章に文化的複合施設と連携した取り組みと入れていただきたい。それから、文化的複合施設は町としてもまちづくりとして位置付けており、施設位置については一部が入っておりますが、この計画の範囲内に入れていただきたいと思います。

（委員）

そもそもゾーニングが良く分からなくて、なぜ岩本寺が入っているのがよくわからない。ゾーニングをやるのであれば、行政のみでなくて地元の人にしっかり説明していただかないとこの計画自体もうまくいかないような気がする。もうちょっと対話をしてもらいたいという気がしています。

（委員）

そのとおりですが、会議の中で、商店街、まちづくりの話をする中でこうしたゾーニングというのはそうした案がなければ話がまとまらないのでこうしたゾーニングという区分けをされているのかなと思います。あと自分が議会の中でまちづくりの話をする中ではゾーニングというのは使わせていただいてますが、実際にまちづくりをしていく中では、地域の人にも理解していただけなければならないと思いますし、それはおっしゃるとおりと思います。

（委員）

地元の人にももうちょっと詳しく説明しないといけないと思いますし、ゾーニングされた方としてはゾーニングって何ですかってなるし、岩本寺引っ越しした

らどうなっちゃうのと思ったり、その辺をしっかりやってもらいたい。
（委員）
　自分がゾーニングという言葉を言いましたので、一つの考え方としてゾーニングというのはまちのエリアにどこにどういう機能を作るのかというものでございます。岩本寺については歴史・文化ゾーンということで取り入れております。また、浸水対策ゾーンでは浸水対策をするようになっています。たしかに勝手に地域への住民への説明が充分できていないということはそのとおりだとは思います。ただ、市街地再生基本構想については、意見公募など一定の手続きは踏まえてきているのです。
（委員）
　ゾーニングについては理解しますが、地域の人にもご協力いただくわけなのでそういうことは積み重ねが大事なんじゃないかなと思います。
（委員）
　この計画は外からの人を中心とした計画になっているのかなと思いますが、もっと四万十町の商店とか住民力を出していく方法があればなと思います。どこも過疎化していて朝来市とかは城跡や資料館しかないですし、豊岡市の出石町も出石そばと観光地しかない町ですが、人を呼んでいる。四万十町では窪川の中の何かを磨いていくことも必要なのじゃないかなと思います。せっかく自然がいっぱいあるのですから自転車で１時間行ったら五社さんに行ったり四万十川を見たり、そういったことを楽しめる目玉にしていくまちにしていってはと思います。
（委員）
　まさに自分もこの資料をもらって考えていたんですけど、楽しめるということは大事だと思います。飲食店にしろ文化的なものにしろ、吉見川の太鼓橋とか、野球の９番バッターみたいなものかもしれませんが、それをチームとしてまとめていくことが必要ではないかと思っています。まちを一つの公園とかアミューズメントとか見た時に、外から来た人が楽しめるかというと案内板もあるわけではないですし、よそから来た時に、町の人もまち歩きをするときにここにこういったものがあると分かるような仕掛けがあるといいのかなと思います。計画の中に案内看板のことも出ていますが、来月から観光列車も来ますし、駅前にある看板も随分と古い看板ですけども、ああいうのも早い段階で作り直してＱＲコードを入れてできるところからどんどん取り掛かっていくのが、この会の一番いいところではないかなと思うので、できそうなところはどんどん取り掛かっていただきたい。
（委員）
　駅前のゲストハウスはいつオープンになるんだろう。
（事務局）
　保健所から許可が下り次第、３月中にオープンと聞いている。

中自体はできあがっていてお試し的にやってはいる。

（委員）

さくらマラソンなどで聞かれるのが「お土産を売っているところはないですか」というのがあるんですけど、水車亭は汽車で来た人には遠いし、サンシャインも案内はするが、町内にお土産物屋があると思うんですけど、そういったものをまとめて紹介できないかなと。ゲストハウスに一定お土産を置いてできないかなと思ったり、観光の拠点にもなると思うのでワーキンググループでもそのあたりをやっていただいては。

（事務局）

第二回の協議会での会長の話もありまして、そういう話もさせていただいて、駅前で目につきやすい、黒鳥の刃物のアンテナショップとするとか、セレクトしてきて、あるいは飲食スペースで観光案内しつつレンタサイクルを置くとか、外国人のキャリーケースを置く場所がないので、もし可能であればゲストハウスにおいてもらうとか。喫茶店、町中にも多いのでモーニングを午後に提供するとかもいいかなとか。古書街道でも地元の皆さんがプレーヤーになることも大事だと思うので、一心堂のとなりに子供たちも観光客も立ち寄れるスペースを作りながら、まちライブラリーとしてお店の軒先や施設の中に関連する本を置きながらお店の中に誘導する仕組みを地域の人を巻き込んで、町内の人も楽しめる仕組みを作っていきますのでご期待ください。

（委員）

すごいアイデアがいっぱいでているようで楽しみです。ほかにありますか。

（委員）

話を聞いていて、すごくいいと思いました。古書っていったいどんな本を集めるのかなと聞きたいと思っていました。お店の軒先を借りるとかすごくいい話なので進めていただきたい。それから看板の件については看板の整備と合わせて浸水対策と合わせて吉見川のスポットを整備していくとかしていったらいいと思う。看板は作ったものの状況が変わることもあるのでメンテナンスやリニューアルも考えて。この計画を見るとハードというよりかソフトに重点を置いているのがいいと思ってまして、受け皿として町おこし応援団をしっかり作っていただいてワーキングをしながらチャレンジショップを先ほどのお土産をやってみましょう探ってみましょうということでランニングコストが負担にならないように実験的にやって課題を整理しながらゲストハウスにおとしていくとか、事業を上手に使いながらやっていくとものになっていくように思います。その中で必要なハードが出てきたらハードをやったらいいと思います。古書街道の話はすごくいいと思うので、現場でそういう話が出てるならしっかりやっていくといいと思います。

（委員）

古書というのは古い本ですか。

（事務局）

古い貴重な本がすぐ集まるとは思っていなくて、中古の本です。

（委員）

昔、漫画の貸本屋があったんですけど本をホビー館の館長が持っていて、貸してあげるとは言っているので。

（事務局）

貸本屋のシャッターの中にまだ残りがあるんじゃないかと思っていたがそこには残っていなかった。

（委員）

館長が全部持って行ってる。前からいろいろ案は出ているが実現していない。

（事務局）

窪川小学校の本が 1,500 冊廃棄になるということで回収してきてかなり使えるものもあるのかなと思い、商店街のところに置ければと思っており、そうした本を集めることも始めています。

（委員）

館長に聞いて貸してもらえるようなら貸してもらえばと思う。

（委員）

くぼかわ街灯りプロジェクトですけども検討できる時間もあると思うので、せっかくきれいな街路灯ができるなら、その街路灯が点いているときにまち歩きを合わせてできんものかな、イベントか宿泊してる人かで飲みに回ってもらう、できた街路灯を活かすということでは面白いのかな、これから行政との中で検討していく中でできたものを活かすのはいいのかなと思います。

（委員）

ちょうど商工会でも今年度は大正地域の町中の街路灯を整備したのですが、窪川の町中でも古い街路灯があり、撤去の話が進んでいて、本町と吉見町のあたりなのですが、常会と話を進めていくのですが、今のような看板をつるしたものでなく、岩本寺のあたりには風情のある光量を落とした一定の高さで明からすとかそういったものにしていきたいなとは思います。

（事務局）

計画範囲について、今までの話の中で駅前の土産物屋等の意見がございましたので、学園通りを含めて加えていただいてよろしいでしょうか。

（委員）

土産物案なんですけども今まで商店は自分のところは自分のところで完結してきたわけですけども、マッチングできれば喫茶店のカウンターに置かせてもらうとかで集客につながるとか、アイデアしだいでお金をかけなくてできると思いますので今すぐできることも考えながらやってみてはと思います。

（委員）
　今までいろんな話を聞かせていただいて、最低限のところで早く進めていただければいいのかなというのが率直な意見で、全体の中でエンブレムのようなものを提案して街全体で協力してもらう、目で見て訴えるものがあれば面白いのかなと思います。また、連携するところでいえば中心市街地だけでなくて町内で連携して、最近ニュースで見たのですが、野球のグローブを作っておられる方がいるようですので、そうした方とうまく連携できればと思います。とりあえず早く進めていただければと思います。
（委員）
　グローブ、革製品なんですけども、黒鳥とかそうしたところと連携するのもありと思います。
（委員）
　この計画、よくできてるなという感じですけど、探したら人材もいるのかなという感じです。香月が丘のバイオリン製作者とか半平の管理者とか事業とのかかわりができるのかなと感じます。
（委員）
　計画範囲について、異議がなければこれを承認してよろしいでしょうか。
　挙手でお願いします。（挙手全員）
（事務局）
　ワーキングと協議会のスケジュールについて説明。
　今後とも引き続きよろしくお願いいたします。
　これで終了します。ありがとうございました。